

「ブラックバイト」から学生生活を守るための対策を求める意見書

いま、学生生活に異変が起きている。

「テスト期間にもシフトを入れられる」「正社員並みの過度な責任やノルマを課せられる」「辞めようと思っても辞めさせてもらえない」など、学生の実情も無視した「ブラックバイト」が広がっている。また、サービス残業など、違法・脱法行為も学生を苦しめている。

メディアでも「急増！『ブラックバイト』」（「毎日」）「違法行為が横行し、学業に影響するほどの長時間労働を強いられるケースも」（「読売」）などと取り上げられ、社会問題になっている。

この間、非正規労働が拡大し、学生バイトの多くが働く飲食店、コンビニ、大手学習塾などは、一つの店舗に正社員が一人で残りは全員非正規というところも少なくない。また、学生生活を維持するためにバイト収入を途絶えさせるわけにはいかない状態となっている。奨学金も返済できるかどうか不安が大きいことからあきらめる場合も少なくない。

これらは、学生生活と大学教育にとって有害であるだけでなく、日本社会全体にかかわる問題である。将来ある若者が、「ブラックバイト」で学業や生活を脅かされ、無権利状態におかれている現状を放置することはできない。

これらの対策として、①労働関係法令にもとづき、シフトの一方的な変更や押しつけ、サービス残業を是正すること。②大学などに相談窓口を設置するなど対策をおこなうこと。③学業のためにバイト漬けにならないよう学生の学費負担の軽減や世界では当たり前になっている給付制奨学金の創設をおこなうこと——などが必要である。

よって、町田市議会は、政府に対して「ブラックバイト」から学生生活を守るための対策をおこなうことを求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。